

(様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年7月13日

Table with project details: 計画の名称 (一戸町「水のきれいなまちづくり(第2次)」), 計画の期間 (平成27年度～平成28年度(2年間)), 計画の目標 (下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。), 定量的指標の定義及び算定式 (下水道処理人口普及率), 定量的指標の現況値及び目標値 (当初現況値: 33.6%, 中間目標値, 最終目標値: 37.0%), 全体事業費 (37百万円), 効果促進事業費の割合 (0.0%).

事後評価

Table for post-evaluation implementation: 事後評価の実施体制 (事業担当部署で実施), 事後評価の実施時期 (平成29年8月), 公表の方法 (町のホームページに掲載).

1. 交付対象事業の進捗状況

Table showing progress of delivery projects. Section A: 下水道 (A-1-1, A-1-3). Section B: 関連社会資本整備事業. Includes columns for project number, type, location, delivery target, direct/indirect, contractor, facility type, project name, content, location, and implementation period.

C 効果促進事業

Table for effect promotion projects. Section C-1-1. Includes columns for project number, type, location, delivery target, direct/indirect, contractor, facility type, project name, content, location, and implementation period.

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Table showing project effects and goal achievement. Section I: 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況 (管渠工事により、供用開始範囲が広がり、下水道を利用できる人が増加したことにより、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。). Section II: 定量的指標の達成状況 (指標①: 下水道処理人口普及率, 最終目標値: 37.0%, 最終実績値: 35.5%). Section III: 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (下水道管渠工事を行ったことで、住民の公共下水道への関心が高まり、下水道接続への啓発に繋がった。).

3. 特記事項 (今後の方針等)

・引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

(参考様式3) (参考図面)

